

小松島商工会議所 商業・サービス合同部会 議事録

日時：令和7年11月19日（水） 午後4時30分から

場所： 小松島商工会議所 会議室

出席者：商業部（2名）、サービス部（3名）、事務局（2名）、その他（1名）

1. 開会

2. 挨拶

3. 議題

○徳島マッチボックスについて

- ・徳島マッチボックスは、2025年8月1日にグランドオープンした徳島県連携事業
- ・目的は、求職者の奪い合いではなく、地域で労働力をシェアリングすることにより、地域の労働力不足を根本解決すること
- ・スポットワークを単発で終わらせず、働き手を常連・顔なじみとし、将来的な正社員雇用への間口を広げることを目指している
- ・システムは「自社専用のお仕事マッチングシステム」であり、柔軟な設定が可能
- ・「マイボックス」機能により、定年退職者（OB/OG）や求人応募者、既存のスポットワーカーを登録し、人材資産化できる
- ・マイボックスに登録された経験者を繁忙期に活用したり、正社員登用の候補として引き抜いたりする事例がある
- ・マイボックス利用者の欠勤率は6.05%と低く、無断欠勤の不安を解消している。これは、自社メンバー登録が事業者による招待と働き手の承認によって成り立つから
- ・応募があった際、民間媒体と異なり、事業者が応募者の中から採用・不採用を決められる
- ・採用時には労働条件通知書の発行、勤怠・給与計算、給与振込（立替払い）といった労務処理が自動化される
- ・徳島県連携事業であるため、システムの初期費用（通常30万円）と掲載費用は無料
- ・手数料は勤務が発生した場合のみ必要
- ・小松島市では現在、2社のみが利用している

○小松島市観光ボランティアについて

- ・新型コロナウィルスの流行期間を経て、クルーズ船の寄港回数とお遍路さんの数が過去最高に達している
- ・お遍路さんのうち、5割から6割が既に外国人であり、円安や体力面を理由に若い外国人巡礼者が増えている
- ・国籍は欧米、アジア（台湾最多、韓国、中国）、北米など多岐にわたる。デンマークからの訪問者が多いのは、四国遍路の特集番組が組まれたため
- ・観光ボランティア団体は2016年に設立され、現会員は18名
- ・南小松島駅の案内所を運営し、クルーズ船の寄港対応や、観光案内を行っている
- ・外国人対応のため、英語対応やスマホのGoogle翻訳/AIを活用している

- ・これらの取り組みが評価され、日本政府観光局（JNTO）から外国人観光案内所として認定（2025年10月31日）
- ・地元に賑わいを創出するため、南小松島駅前イルミネーションの設営・運営を行っている
- ・市の魅力を発信するため、様々な団体とコラボレーションして情報発信をしている
- ・組織継続のため、ボランティアでの対応から脱却し、活動費用を有償化し、予算措置を行う必要があるという課題がある
- ・会員の高齢化が進んでおり、中堅層の入会や人材育成が直近の課題

4. その他

次の予定 12月10日(水)

令和8年1月14日(水)、2月6日(金)、3月11日(水) 16時30分～